

2025年12月のNO₂(二酸化窒素)測定結果

東都生協では「身近なところの空気を実際に測って確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいのか」を考えることを目的に1988年からNO₂(二酸化窒素)測定活動を実施しています。

測定結果は「大気汚染測定運動東京連絡会※」に提供。同会では生協の他、さまざまな団体から集めた測定結果を基に、大気汚染の改善を求めて運動を展開しています。毎回の地道な測定活動の積み重ねが大きな運動を支えています。

測定日時	2025年12月4日(木)午後6時~12月5日(金)午後6時	測定規模	・参加人数：199人
	※前後2時間を有効とする		・カプセル配付数：222個
天気	12月4日 快晴 平均風速：2.8m/S	測定結果	・カプセルの返却数と回収率：202個(91.0%)
	12月5日 快晴 平均風速：1.9m/S		・有効とした測定数と回収率：165個(74.3%)

測定結果 2025年12月の測定活動にご参加いただきありがとうございました。

今回の測定において確認されたNO₂(二酸化窒素)の平均濃度は0.022ppmでした。これは、過去5年間の平均値(0.019ppm)と比べて、やや高い濃度です。大気汚染常設監視測定局が測定した都内の平均濃度では、道路沿いの濃度が0.019ppm、住宅地は0.012ppmでした。

環境省が定めた基準値は「0.040~0.060ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。

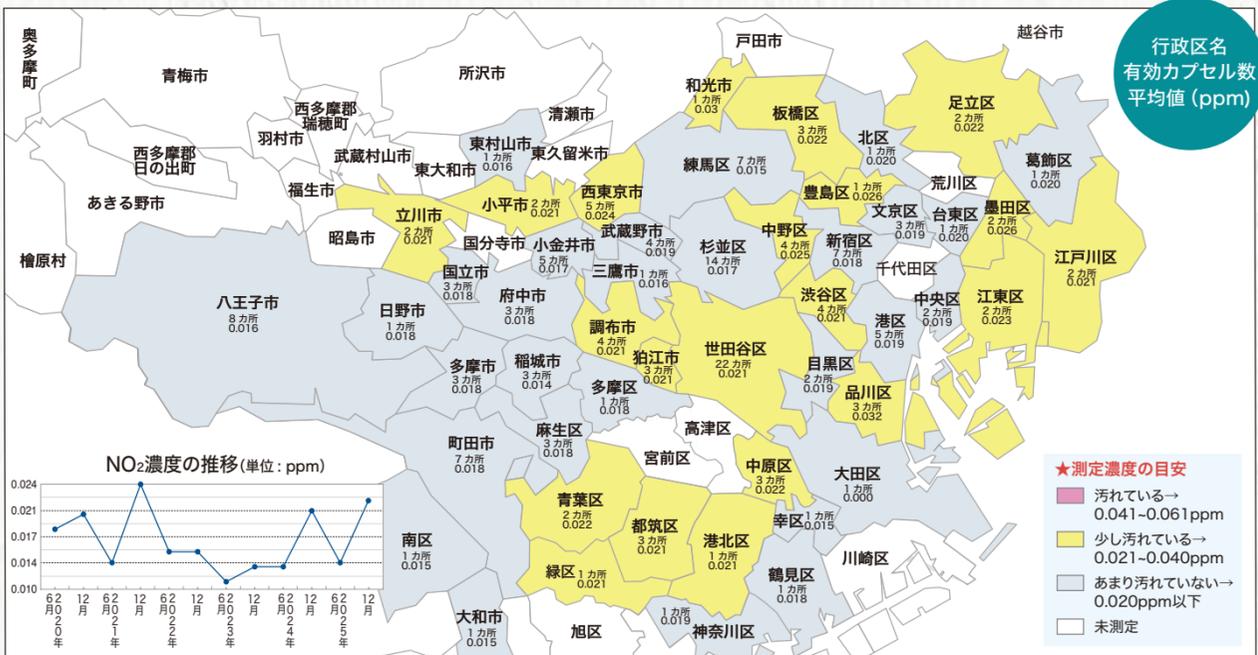
■NO₂(二酸化窒素)測定結果について、本誌で報告をしてきましたが、今後は、東都生協ホームページでのみの報告となります。ご了承ください。

地域別の測定結果

測定地域	測定結果	前年12月の実績
東京都全体	0.022	0.021
東京23区	0.020	0.022
東京多摩地域	0.018	0.019
神奈川県	0.020	0.020
埼玉県	0.030	0.021

◆大気汚染測定運動東京連絡会◆

大気汚染測定運動に参加する各地域実行委員や団体の自主的な活動を基盤とする連絡会です。きれいな空気を取り戻し、健康と環境を守り、大気汚染による健康被害を防ぐことを目的に活動を進めています。東京連絡会全体で取りまとめた測定結果は、東京都や環境省に報告され有害物質の排出抑制を進めるための貴重なデータとして活用されています。



- 2025年度第8回定例理事会(2025年12月18日開催)**
- 審議事項 ●2026年度活動方針・事業計画・予算および業務組織機構の大綱確認の件
 ●「私たちの東都生協」(第一次議案書)確認の件
 ●2026年度イクサバ委員会設置の件 ●役員補選選挙に関する件
- 報告事項 ●2025年11月度決算報告 ●各部署業務報告 ●組合員活動委員会報告
 ●商品活動関連報告 ●理事懇談会開催の件 ●常任理事会決議事項報告
- 2025年度第9回定例理事会(2026年1月22日開催)**
- 審議事項 ●2026年度業務組織機構の整備と部長職人事の考え方の件
 ●2026年度地域区2地域区理事推薦委員会委員委嘱の件
 ●全国制度「生協役員賠償責任保険」の加入申込の件
- 報告事項 ●2025年12月度決算報告 ●各部署業務報告 ●組合員活動委員会報告
 ●商品活動関連報告 ●総代会に至る論議スケジュール変更の件
 ●理事懇談会開催の件
- 今後の理事会日程(予定) 4月16日(木)、5月7日(木)、5月19日(火)

<12月の私たち>
 2025年12月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数	263,842人	[100.5%]
加入	9,491人	[80.0%]
脱退	7,987人	[82.2%]
総事業高	25,432,774千円	[99.5%]
共同購入事業	24,365,796千円	
弁当配食事業	295,202千円	
生活文化事業	184,087千円	
生活支援事業	57,907千円	
その他事業	529,782千円	
出資金	6,404,611千円	[97.5%]
1人当たりの出資金	24,274円	[97.4%]
1人当たりの利用高	6,588円	[104.6%]

MOGMOGレポート

3・4 2026 月号

01 サロン de 手足マッサージ
 9月19日 第2地域委員会

講師は東都人材バンクの登録講師で、中医薬膳師などの資格を持つ坂梨志麻さん。最初に参加者全員に今の身体の悩みのヒアリングがありました。多かった声は腰痛、むくみ、眼精疲労。まずは身体を支える全ての土台である足首を柔らかくすることが大事だとのお話がありました。参加者は靴下を脱いで先生の言葉に従ってマッサージをしながら話を聞きます。片方の足を少しマッサージすると、もう片方の足とは明らかに皮膚の色が違ってくることが分かり、参加者からは驚きの声が上がりました。サロン形式で丸く座り、質問しやすい環境だったこともあり、マッサージをしながら参加者からは活発に質問が出ていました。心も身体もほぐれたひとときでした。



02 Tohto Fan Meeting 小川珈琲を味わう!
 11月18日 第8地域委員会

魅力的な総代活動になるように、総代優先企画としてTohto Fan Meetingを開催しました。今回は小川珈琲(株)の三輪好美さんを講師にお迎えし、東都生協プライベートブランド「わたしのこだわり」から「東都香りのブレンド珈琲」と他2種類のコーヒーを飲み比べました。おいしいコーヒーを入れるコツは「コーヒーの粉の量、お湯の温度(90度前後)と量を守ること」のお話がありました。その後、テーブルごとに参加者が実際にコーヒーを入れて試飲。参加者からは、「自宅では沸騰してすぐのお湯を使っていたが、適温で入れたコーヒーは味も香りも良い」「今まではコーヒーを飲むことが楽しみだったが、これからは入れることが楽しみになりそう」などの感想がありました。東都生協のドーナツをお茶請けに各テーブルで



ヒール談義に花が咲き、楽しい時間となりました。

03 平和について考えませんか 昭和のくらし博物館訪問
 11月21日 第6地域委員会

大田区の住宅街の中を一步踏み入ると、昭和の時代にタイムスリップしたような一軒家が。その家は「昭和のくらし博物館」。戦後80年企画の戦争展を学芸員の小林こずえさんに解説いただき、平和について考えました。1階の常設展示室には、実際にここに住んでいた家族のくらしがそのまま残されていました。大変な時代を生き抜いた女性の姿や不便な中でも楽しいことを見つけて生活をする、家族を思う姿に「涙が出そう」と言った参加者も。戦禍を逃れて残された戦争資料なども大切に保管されていました。世界に目を向ければまだまだ『戦後』といえない国もあります。今こそ平和の尊さを発信し後世に引き継がなければと考える一日になりました。



Pick up

見て、聞いて、話そう! 交流フェスタ2025

開催日：10月24、25日 会場：新宿駅西口広場イベントコーナー

「未来のために今できること」をメインテーマに開催された「交流フェスタ2025」は、生協をはじめ消費者団体、企業、行政、大学など41団体が出展し、2日間で約1,600人が来場。6つのテーマ(「消費者被害防止」「くらし」「環境・エシカル」「食」「子ども」「安全対策」)で消費生活について楽しく学べる展示を行いました。東都生協のブースでは、みかんのある風景を未来に残そうと産直産地の一つ、(農)大矢野有機農産物供給センター(熊本県上天草市)と東都生協が2023年から連携して活動している「未来につなぐみかんの木」の取り組みをパネル展示とクイズで伝えました。組合員が年間6,000円を出資してサポーターに登録する仕組みで、初年度は産地に120本のみか



「河内晩柑」と「河内晩柑やわらかドライフルーツ」。

んの苗を植えました。来場者からは「みかんが実を付け出荷できるまでに3~5年かかるとは知らなかった」「これからも国産のみかんを作り続けてもらえるよう産地を応援したい」など、「みかん栽培の現状について新たな発見があった」といった声寄せられました。サポーター登録の組合員も来場し、「木が成長して収穫まで見守ることができるのは楽しみ」「台風や夏の高温など心配で気になりますが、定期的な通信の発行で状況を知ることができうれしい」と生産者と同じ視点に立って、木の成長を見守っていることがうかがえました。収穫の喜びを分かち合える日を楽しみにしたいですね。



地域コーディネーターが説明とクイズを担当。



くらしフェスタ東京の旗